

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱（身体虚弱）者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

平成22年5月21日

きらりNet

第1号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

「開放・交流・調和」を求めて

秋田きらり支援学校が4月に開校しました。秋田養護学校と勝平養護学校が統合してできた学校です。寄せられる大きな期待が、新しい名前に籠められています。

本校は、「秋田県立医療療育センター」と廊下でつながり、さらに盲学校や聾学校ともつながっています。学校の新しい形が生まれたと言えるでしょう。これまでなかった機能の発見と充実が私たちの役目になります。

本校が担う地域支援を進めるにあたって、センター的機能の充実という課題を全校のものとして、取り組んでいきたいと思っています。本校とつながる人・学校・機関・制度などのすべてが、お互いの機能を上手に発揮しあえるとき、私たちが関わる子供たちにとってよりよい場面、環境が生まれます。

本来、地域支援は一方通行ではなく、つながりの中でお互いにフィードバックしあって充実を図るためのものでしょう。開放・交流・調和を求めることの意義がそこにあると考えます。この地域支援だよりがその一助となることを願って発行してまいります。ご活用いただければ幸いです。

校長 宮澤 知明



「きらりNet」は、秋田養護学校の地域支援だより「ほっとねっと」、勝平養護学校の地域支援情報「キャッチボール」と同様に、配布先の皆様とのつながりを大切に、ほっとな情報を発信していきたいと考えています。また、発信と同時に皆様のニーズを受け止めながら様々な情報をお伝えしていきたいと考えています。

次号より授業の様子や使用している教材・教具の紹介を行っていきます。また、隣接する秋田県立医療療育センターの紹介や各種研修会の案内等も行っていきたいと考えております。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

次号は6月18日発行予定です。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱（身体虚弱）者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

秋田きらり支援学校はどんな学校？

学校教育目標

自ら学び
豊かに表す
健やかに生きる
手をつなぐ



秋田県立医療療育センターと隣接しセンターから通学できます。

児童生徒数

小学部 42名
中学部 30名
高等部 38名

医療的ケア

保護者が所定の手続きを行い、主治医の相談の元で学校に配属された看護師が安全に配慮しながらケアを行っています。

訪問指導・院内学級

通学が困難な児童生徒に対する在宅訪問や中通病院に入院しているお子さんに対する院内学級での指導を行っています。

教育課程

小学部・中学部・高等部の三学部からなり、一人一人の実態に合わせた教育課程で教育活動を行います。

本校のセンター的機能について

小中学校等の他校への支援

小中学校等を訪問し、指導内容、教材教具、学習上の支援の工夫についての情報提供を行います。

学校見学

随時受け付けており、体験学習の他、医療的ケアや摂食指導、教材教具等本校の教育活動を見学できます。

教育相談

児童生徒の学習や生活上の悩み等に対する教育相談・発達検査などのお手伝いをします。担当者が出向いて相談に応じることもできます。

地域支援だよりの発行・ホームページによる情報発信

本校の学習の様子など、肢体不自由・病弱教育に関する幅広い情報を、全県の特別支援学校、肢体不自由、病弱・身体虚弱特別支援学級設置校・関係諸機関に送付させていただきます。また、本校ホームページにも掲載する予定です。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>



本校では全校体制でこれらのセンター的機能に取り組んでいます。是非ご利用ください!!
これらのセンター的機能について今後の「きらりNet」でも紹介していきます。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記までご連絡ください。

教頭 靱山 節子 地域支援部 松井 智子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573

FAX：018(889)8575



次号は6月18日発行予定です。